



## 1 課題

不登校（ひきこもり状態）には、子どもだけでなく保護者の葛藤や不安も関連している。こうした状況においては、親が子の心理状態を理解し、適切なコミュニケーションを図っていくことが必要となる。

## 2 概要

不登校傾向にある子の保護者に対して「思春期の子育ての悩みセミナー」を開催。親の疲弊感を軽減し、かつ、家族のミスコミュニケーションを改善することで親子の関係性の再構築につなげるプログラムを実施する。

大学

山崎 茜

広島大学

大学院人間社会科学系科学研究科  
講師

市担当課

×

健康福祉部  
地域共生推進課

子どもと向きあう 参加無料  
思春期の子を持つ親のためのセミナー  
●日程/全8回、各15:00~16:30 ●場所/広島大学ミライエ  
（広島市南区中野町）



◀セミナーちらし



▲セミナーでのグループワークの様子

## 3 研究成果 手法等の構築

全7回のセミナーを実施。（参加者6人）テーマ学習の機会だけでなく、日々抱えている辛さを同じ境遇にある仲間と共有する時間（ピアサポート）を確保。また、セミナー開始時と終了時で、保護者の疲弊感について心理尺度を用いた調査を実施。一部項目において、参加者の疲弊感が改善していることが確認できた。また、インタビュー調査においては、セミナーへの参加をきっかけとして、親の不安感からくる家庭内のミスコミュニケーションが改善した事例も見られた。

## 4 今後の展望・現状 担当課で事業実施

研究によって、家族が孤立しないための支援の重要性を確認できた。家族支援については、引き続き、本市においても研究を重ね、支援の1つのツールとして実装できるようにする。なお、セミナー参加者には、令和6年度も当事者会（親の会）というスタイルで集まっていただき、活動を継続することとなった。